

祭典ニュース

第3号

発行
2024日本のうたごえ佐賀祭典in佐賀実行委員会 宣伝広報委員会

新たに加わった企画

特別音楽会

佐賀女子高合唱部の出演決定！

佐賀女子高合唱部は、一昨年の合唱コンクール全国大会で最高賞にあたる文部科学大臣賞を受賞し日本一に輝いた団体です。演奏曲目は未定ですが、樋口先生の指



(佐賀女子高合唱部)



(ソレイユ)

導のもと、毎年質の高い演奏を続けられています。佐賀女子高合唱部OB「ソレイユ」も参加予定。「ソレイユ」や「もどき」など佐賀県内の合唱団のレベルの高さは全国的によく知られていますが、

場に響きわたります。曲目はまだ決まっていますが、「どうれつしゃがやってきた」の伴奏も企画されています。どんなうれつしゃが走るのか、今から楽しみです。



(佐賀市民吹奏楽団)
佐賀市民吹奏楽団の演奏

佐賀市民吹奏楽団も出演

「ソレイユ」の演奏お楽しみに。

畑山実行委員長の挨拶



怖に怯えながら市民と兵士

新しい年が明けました。新年早々、能登を中心に震災に襲われ、被災で苦しむ人たちのことを思うと、おめでとごさいますという言葉も控えてしまう正月でした。また、昨年はウクライナやガザで戦闘が繰り広げられ、死の恐れ、

は新しい年を迎えています。

若い頃に聴いた歌の歌詞に「今はもう誰かのコンチェルトなどを聴いている時ではない、走りよって抱き上げなければならぬ。傷ついた人で世界は溢れている」と言うフレーズがありました。でも、どんな状況に置かれても、人間には歌もコンチェルトも必要です。被災地や戦地の人々にとっても。

それは私たちにとつても同じです。多くの苦しむ人たちのことを思い、平和を願い、世の理不

尽なことに怒り、また、住み慣れた美しい故郷に生きることを喜び、今年も私たちは歌っていきたく思います。

そして、今年特別な一年でもあります。11月には、佐賀で日本のうたごえ祭典が開催されます。名譽なことではありませんが、大変な準備作業になるでしょう。でも、みんなで力合わせれば、きっと、大丈夫ですよ。

11月には、被災地や戦地の人々のことも思いながら、佐賀の地からうたごえを響かせましょう。

筑後川の曲目決まる

團伊玖磨作曲の「筑後川」演奏についてはすでにお知らせしていましたが、曲目が決まりました。この組曲は全部で5曲からなりますが、その中から「みなかみ」「川の祭り」「河口」の三曲を取り上げます。

県内はもとより九州や全国の仲間と一緒に歌い、素晴らしいステージを作り上げます。

日本のうたごえ合唱団

「日本のうたごえ合唱団」の曲目も決まりました。外山雄三作品から「墓碑」「ヒロシマというとき」、安広真理作品から「一つのピース」を演奏する予定です。どうぞお楽しみに。

大音楽会（アリーナ）

佐賀アリーナでの企画も決まり



(佐賀アリーナ外観)

つつあります。

荒木栄をうたう

前回の案内では佐賀市民文化会館で歌うようになっていた「荒木栄」をアリーナの舞台で、それも大合唱で歌うこととなりました。曲目は「地底の歌」「わが母のうた」「こころはいつも夜明けだ」の三曲を予定しています。

会場の皆様とともに

みんなで歌いましょう！
「手のひらを太陽に」「上を向いて歩こう」など、慣れ親しんだ曲を会場の皆様とともに歌い交わしましょう。

その他、地元佐賀の合唱団による「ふるさとの四季」や佐賀の大運動にちなんだ「宝の海よ」、未来を拓く青年のステーションなどは前号で知らせたとおりです。

今後の予定

- 2/3(土) 宣伝広報委員会
- 2/6(火) 事務局会議
- 2/8(木) 組織委員会
- 2/10(土) 運営委員会
- 2/13(火) うた新拡大委員会
- 2/18(日) 事業委員会
- 2/23(金) 日うた協全国総会

佐賀ゆかりの若い音楽家

2号に続き佐賀ゆかりの若手音楽家2人の紹介をします。

KOSEIさん

佐賀県吉野ケ里町出身です。国立音楽大学大学院を首席で修了され、修了時に最優秀賞並びにクロイツアー賞を受賞されています。現在は様々なジャンルの演奏はもとより作曲アーティストのサポートや楽曲提供、CM楽曲制作・出演など多岐にわたる音楽活動を展開されています。



日本のうたごえ祭典団体へ田中会長があいさつまわり

一月十八午後から十九日午前にかけて、実行委員会への参加を呼びかけている民主的な運動団体等へ田中嘉治会長が訪問しました。(松田さ生子運営委員長、諸石信義運営委員が同行)

訪問した団体は、佐賀県高教組、唐津・東松浦地区労(佐教組唐津支部、

格的にソロ活動を開始され、ピアノ兼ボーカリストという独自のスタイルを確立しミニアルバム「K」をリリース、ソロライブを敢行。

大坪俊樹さん



佐賀県吉野ケ里出身です。16歳よりサクソフォンを始め、武蔵野音楽大学器楽科を首席で卒業。その後東京藝術大学修士課程を修了。『歌うサクソフォン奏者』として全国的に演奏活動を行って

られます。日本で開催された国際音楽コンクール第1位。近年では布施明や小曽根真氏らと共演。また『news zero』『ざわつく金

唐津市労連、唐津市社協助成会、自治労連佐賀事務所)、新婦人佐賀県本部、佐賀県労連(佐賀県医労連)、佐教組三神支部、日本共産党佐賀県委員会他西部と北部地区委員会。以上の各所の訪問で13団体へあいさつしました。
※○内は訪問先で一緒に対応していただいた団体
どの団体でも、SAGAアリーナで開催する事に関心を持たれており、協

各委員会報告

今号では、事業、組織、企画委員会から進捗状況を報告してもらいます。

事業委員会

今年の事業部は「二刀流」
2023年は、九州うたごえ祭典(7月熊本)を皮切りに北海道や佐賀で物品販売を行い、6カ月間で約18万円の収益を上げることができ



自治労連と田中会長

力をしたいと返事をいただきました。唐津市社協助成会(保育士の労働組合)さんは、「50人でも1人でも出演できます」と応えてもらうなど、自らの要求実現と重ねて取り組みを重視されている所もあり、大きな手ごたえを実感しました。

ました。2024年は、全国を対象にWebと対面の二刀流で販売を進めていきます。

SAGAアリーナでうたごえ夢実現の支えとなる事業部活動。常に新しい商材がないかとアイデアを交流しているところです。「祭典Tシャツ」「クリアファイル」「革製品」、お土産になる食べ物も充実させようと「小城ようかん」「佐賀海苔」「うれしの茶」「九条せんべい」に加えて、現在佐賀銘菓を吟味中です。

組織委員会

組織委員会(1/21)からうたごえ祭典の成功は「人・金・うたごえ」の力の組織結集にかかっています。
100人目標の呼び掛け人は85人達成です。各地域実行委員会と「地域呼びかけ人」を増やし活動に協力してもらいます。賛同金は2月24日全国実行委員会までに二百万円目標です。1/21現在、動いている合唱団員は23人(協議会員51人)合計百二十一万三千円で、まだまだ全体の取り組みになっていません。各合唱団話し合い励まし合い、まず全員が一步踏み出し1口をやり遂げることを決めました。2/3月は合同合唱団募集です。演目の魅力を分かりやすくチラシに、地域の合唱団

企画委員会

や演奏会・公共施設などへの宣伝活動で、700人の歌い手実現に!! 地域実行委員会や九州全国の情報や活動を交流し学び合い、合唱の練習も組み入れながら楽しく地道に「3つ」の組織拡大です。

11月29日、30日と音楽会を開催します。今回は30日のアリーナでの大音楽会のお知らせです。オープニングは全国と佐賀の太鼓の饗宴です。勇壮な太鼓のあとは「ふるさとの四季」の四部合唱。スクリーンに映し出される佐賀の景色と歌声になこんでいると、後方から佐賀市民吹奏楽団の演奏が聴こえてきます。続いて市吹の伴奏による「ぞうれつしゃ」子どもたちの元気な声でぞうれつしゃの出演です。一呼吸おいて「佐賀にわか」のパフォーマンスの後は第2部へと移ります。「女声合唱」「荒木栄をうたう」「九州オールバンドでのシングアウト」「空を海をいのちを」「リパブリック讃歌」「保育のステージ」「若者のうたごえ」と続きファイナーレは「翼をください」を会場の皆様と歌います。

〜お楽しみに〜